

南砺市 野球協会

平成17年2月13日に福光中央会館において、南砺市体育協会会長桜井光雄氏(当時、準備委員長)他多数のご来賓の方々をはじめ旧東砺波郡野球連盟役員・チーム代表者、旧福光町野球連盟役員・チーム代表者の皆さん約110名の御出席により盛大に設立総会が開催され、初代会長に、嶋信一を選出いたしました。その後、3月18日に第1回定時総会を開催し、平成17年度の事業計画、予算案を決定しました。なお、現在の登録チームは、一般(職域・クラブ)チーム17チーム、少年(中学)チーム5チーム、学童(ス

平成17年5月28日に南砺市役所福光庁舎別館3階ホールにて設立総会を開催し、初代会長に井口勉氏、副会長には竹原司氏が選出されました。

主な事業としては、7月3日(日)に第1回南砺市民体育大会(県体選考会)を開催しました。県大会二部の中学の部男子が優勝に南砺市二位に貢献してくれました。10月9日(日)には第1回南砺市バドミントン選手権大会、10日(月)に第1回I-Sカップなんとオープンバドミントン大会等バドミントンシーズンが到来します?

年が明ければ、選手強化練習会も予定し競技力の強化に努めて行きたいと考えております。

富山県におけるバドミントンはトナミ運輸の活躍は言うま

南砺市 ソフトテニス協会

南砺市ソフトテニス協会は、城端・福光・福野の3つのソフトテニス協会が中心となり新しく設立された団体です。設立総会を3月にクアガーデンで開催しましたがその時には、井波・井口地域のソフトテニス愛好家にも参加して頂きました。現在は5つの支部構成になっています。設立総会では、城端地域の松本久介会長以下役員が選出されています。

日頃の活動ですが、練習場所の関係もあり今まで通り各支部・クラブでの活動になっています。唯一の主催行事が「南砺市市民体育大会ソフトテニス競技」になります。大会は「県民体育大会予選大会」を兼ねての開催でした。結果は以下の通りとなっています。

第58回 富山県民体育大会結果

南砺市が合併後、初めての参加になる第58回富山県民体育大会が「蜷気楼の見える街」魚津市を中心会場とし、7月30日(土)～8月1日(月)(中心会期)の3日間開催されました。南砺市選手団は団長桜井光雄(体協会長)以下、総勢555名(一般男子209名・一般女子108名・中学男子141名・中学女子97名)の選手が18種目に日頃の練習の成果を発揮し郡市対抗となる第二部において総合一般の部4位、(優勝種目 サッカー・ソフトテニス女子・卓球男子・剣道男子・ゲートボール女子)総合中学の部2位(優勝種目 ソフトテニス男子・女子 バドミントン男子)となる成績を収めました。

スポーツ少年団)チーム5チームとなっています。また、旧町の野球協会を地域支部とし4支部、その他に審判部、放送・記録・点示部、少年・学童部の7つの部を設け、平成17年度は、東日本軟式野球富山県大会、マクドナルド学童富山県大会の2つの富山県大会の主管開催をはじめ、富山県大会予選を兼ねた南砺市大会も行い、各役員もそれぞれの大会に派遣し活発に活動しております。ジュニア育成に力を入れ、学童野球から高校野球、そして一般、寿野球と、幅広い年代に親しまれている野球競技の発展に努力しています。

南砺市 バドミントン協会

でもなく多くの優秀な選手が育っている県であります。南砺市が合併した効果を最大限に発揮できるよう旧町村のバドミントン協会関係者が力をあわせ、底辺の拡大はもとより、大人になっても楽しめる様バドミントンの振興にも力を注いでいかなければとも考えます。

設立し日も浅く、今後まだまだ課題が生じると思いますがスマッシュで決めるのではなく、シャトルを拾って繋げるスタイルのよう粘り強く協会活動を続けてまいりますので今後ともよろしくお願い致します。

(男子の部) ①福光支部 ②福野支部 ③城端支部
(女子の部) ①福野支部 ②城端支部 ③井口支部
小学生・中学生の指導者にも参加して頂いていますが、小学校から高校までの一貫指導・強化、生涯スポーツとしての普及が今後の課題になります。ソフトテニスでは、今年から新しく「U14(アンダー14、小中一貫指導)」という取り組みがスタートします。平成20年には「全国中学校大会」が富山県開催となります。当協会では指導者の派遣を検討しています。

それから、インターチェンジ・サービスエリアに近いという利点を生かし、全国大会が開催可能なテニスコート24～32面規模のテニス村実現に向け活動を続けて行きたいと考えています。

編集後記

秋も深まり、市民の皆様にとってはどのような秋でしょうか? 秋といえば、実り、食欲、読書、スポーツと何をするにも適した季節なのでしょう。今までの練習の成果を遺憾なく発揮して欲しいものです。来年1月には中部日本スキー大会が南砺市内のスキー場で開催されます。選手の皆さんはシーズンに向け日々努力されていることだと思います。冬が実りの季節になることを期待します。

体協だより

第2号

平成17年9月25日

第17回 たいらクロスカントリー大会開催

南砺市合併記念第17回たいらクロスカントリー大会が8月28日に南砺市小来栖(平)たいらクロスカントリーコースで行われました。遠くは秋田県や千葉・神奈川県など、県内外から417名の小学生から一般までの参加があり、2・4・5・10キロの各種目で男女年代別の部門で争われました。

今年度からは、南砺市体育協会が主催し、事前準備では桜井会長自らもコース内の草刈りを行い、万全の体制で大会を迎えました。

このコースは標高差110mの林道を利用した林間アップダウンコースで半分以上は未舗装、最後には100段の階段登りがある変化に富んだコースです。

開会式には桜井光雄大会長、来賓として山本勝徳市収入役、嶋信一市議会議長に出席していただき、平中学校の池端涼選手が選手宣誓を行いました。



勢いよく走る選手たち たいらクロカンコース



大自然の中、難コースを走る選手たち

9時30分に2・4kmの最初の号砲がなり、小学生が一斉に走り出しました。スタート直後から勢いよく飛び出した川崎鉄太(石川)が他を寄せ付けず2位以下を大きく突き放しダントツの速さでゴールしました。

10時00分には中学生以上の部(330名)以上が一斉にスタートし、大自然のフィールドを駆け巡りました。

レース終了後、参加者からは「自然を満喫することができました。」「とてもアットホームな大会で、進行もスムーズでした。」「とてもきついコースでした。」などの声が聞かれました。また、参加選手の殆どが「来年度も是非参加したい。」との感想には、運営スタッフ一同元気づけられました。

ドイツのスポーツ少年団と交流

第32回日独スポーツ少年団同時交流会が南砺市において、7月31日(日)～8月3日(水)の4日間行われました。

この交流事業は、昭和42年に始まり日独両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とするところであります。



井波の木彫り



さよならパーティー



平高校との交流

今回、訪問されたドイツ団(シグリッド・ヴェハラ一団長を始め11名はアルペン・クロスカントリーなどのスペシャリスト)は市長表敬訪問を始め、上平の世界遺産、井波の木彫り・瑞泉寺、福野のなぎなた、城端のクライミングと南砺市ならではの体験をし、中でも平高校の郷土芸能部との「こきりこ踊り」体験、その後のディスカッションでは同年代ということもあり英語で盛り上がった交流となりました。また、それぞれの地域のスポーツ少年団員や、指導者とも交流が図られ、2日のさよならパーティーでは空手、尺八、民謡の演舞を披露し、ドイツの民族舞踊を披露してもらい、最後に参加者全員で「松健サンバ」を踊り、より深い交流になりました。

第17回たいらクロスカントリー大会結果

種 目	1 位	2 位	3 位
2km 小学生4年以下男子	川崎 鉄太(石川県)	森 遥平(福井県)	中畑 友継(南砺市)
2km 小学生4年以下女子	杉本 愛実(石川県)	村牧 瑞希(石川県)	山下こころ(石川県)
4km 小学生5・6年男子	虎谷 良輔(石川県)	小泉 森(小矢部市)	中元 智(南砺市)
4km 小学生5・6年女子	馬場美沙紀(富山市)	先祖 優衣(富山市)	漆間 渚(新潟県)
5km 中学生男子	岩井 一泰(南砺市)	須河 宏紀(南砺市)	西田 真(南砺市)
5km 中学生女子	須河沙央理(南砺市)	久保真智子(南砺市)	横川 郁美(南砺市)
5km 高校生以上男子	辻 智博(富山市)	山瀬 亮(南砺市)	浜上 貴志(石川県)
5km 高校生以上女子	山瀬 由貴(南砺市)	松井香穂里(南砺市)	吉田 詩子(石川県)
10km 高校生以上女子	宮塚 春香(南砺市)	古瀬 麻美(高岡市)	佐々木英里(黒部市)
10km 40歳以上男子	清田 克司(入善町)	福江 徳幸(南砺市)	新保外志秋(石川県)
10km 40歳未満男子	松川 正幸(南砺市)	鉢舘 孝輔(南砺市)	嶋田 裕樹(南砺市)

Information — 協会紹介 ①

南砺市体育協会に加盟している団体を順に紹介していきます。

南砺市ソフトボール協会

平成17年4月23日に南砺市役所福光庁舎別館3階ホールで設立総会を開催し、管内4支部(福野、井波、城端、福光)協会の合併が承認されスタートいたしました。初代会長は、旧福光町ソフトボール協会長の得能富代明氏を選出され、副会長には、田中廣志氏(旧井波協会長)、水木猛氏(旧福野協会長)、泉川哲夫氏(旧城端協会長)、湯浅幸雄氏(旧福光協副会長)が選出されました。理事長には澤恭次氏(旧城端協理事長)、事務局長は、この原稿を執筆しております山道久功(旧福光協事務局長)が担当することとなりました。よろしくお願い致します。

活動内容は、市民体育大会(兼県体予選会)、ナイターリーグ戦、300歳大会、金沢・南砺友好交歓会の4大会を計画しております。また、県ソフトボール協会主催の県大会の

大会運営も行っており、今年度は全日本エルダー、北信越実年・エルダーの大会を開催いたしました。それから合併記念として北信越大会を福光・城端地域にて7月16・17日の2日間開催いたしました。内外野フェンスの設置が義務付けられているためフェンスを借りに入善町まで行ったり、4球場分のフェンス設置と大変苦労しましたが、会員の皆様のおかげで無事終了することができました。この紙面をお借りし関係各位に感謝申し上げます。

昔一緒に汗した部活動仲間が集まってひと暴れしてみませんか。また、まだまだ若いもんには負けんと再結成して大会に挑んでみませんか。皆さんのやる気お待ちしております。試合の後のみんなで飲むビールがうまいっ!!また、審判員を募集しております。資格をお持ちの方大歓迎。余暇を有意義に過ごしましょう。協会の活動や日程等協会ホームページに掲載しておりますのでご覧下さい。

<http://ww3.et.tiki.ne.jp/~trail/>

南砺市ボート協会は会長の岩田忠正県議を中心に、全28名の役員で構成されています。

「ボートって何?」と思われる方がほとんどだと思いますので、簡単に説明します。

ボート競技とはイギリス皇族が始めた競技であり、第1回ギリシャオリンピックから正式種目として存在します。1人乗りから8人乗りのエイト競技まで多種目存在します。

欧州を中心として行われているハードでお洒落なスポーツで、近年においては、日本を含むアジアに急速な振興がみられます。

競技以外としては、3歳くらいの子どもから80歳くらいの方々まで、生涯スポーツとしてジョギング感覚で親しまれています。

今夏は、FISA2005世界ボート選手権岐阜大会が始めてアジアで開催され、強豪国のカナダ、ギリシャ、そして日本のトップチームが市内桂湖(上平地域)において約3週間、事前合宿を行いました。

そこで、ボート協会として、できる限りの協力・手伝いをを行ったところ各国に喜ばれ、または是非合宿にきたいと次回の桂湖合宿相談を受けている気に入りようです。

また、来年は全国にボート場を所有する市町村団体が主催する第15回全国市町村交流レガッタが桂湖で開催されます。

各市町村の議員クルーをはじめ、壮年の部、成年男子、成年女子の部の部門が設けられています。L=500m×6レーンの直線コースを4人の漕手と1人の舵取りが、予選、準決勝、決勝と熱いレースを展開します。

その他、毎年7月に桂湖レガッタが開催され、夏の湖面運動会の位置付けとして上平地域民には、夏の一大イベントとして親しまれています。

大自然の中でボートを漕ぎ、ボートの魅力にとりつかれるボート協会員も多く、少しずつではありますがボートへの理解を示す方もおります。

今後も「南砺市に桂湖あり」と言われる日を目指し、コツコツと地道に活動を行っていきますので宜しくお願い致します。

南砺市ボート協会

南砺市陸上競技協会

会長 吉田 孝
今年4月21日に南砺市が誕生したことを受け、陸上競技の市内関係者が相集い、南砺市陸上競技協会が誕生しました。

誕生までは、各地域の陸上競技協会、従来より陸上の審判、競技、ジュニア育成などの交流・打合せ等を行っていたので、各関係者が数回の準備会を持ち、順調に進めることができました。

現在、200人余りの陸上競技協会関係者をはじめ、市内の陸上愛好者とともに、地域スポーツの活動の発展と陸上の普及、奨励そして、それに携わる指導者の育成等を会員・

関係者理解のもと進めています。

今後の予定として、10月23日の城端駅伝競走大会や福野・福光の元旦マラソン大会の開催などがあります。

当協会の最初で年間最大の活動として、6月に市民大会を開催しました。今までの郡民体育大会では行えなかった小学生や中学生の部門をつくり、ジュニアの普及を行いました。そして今後は、年々参加の少なくなっている一般の方々にもたくさん参加できるように力をいれたいと思います。

また、いままでも南砺市から日本の一流選手を何人も輩出し、全国大会にも数多く出場しています。今後も数多く全国大会への出場や日本代表となるような選手が出るようサポートしていきたいと思っています。